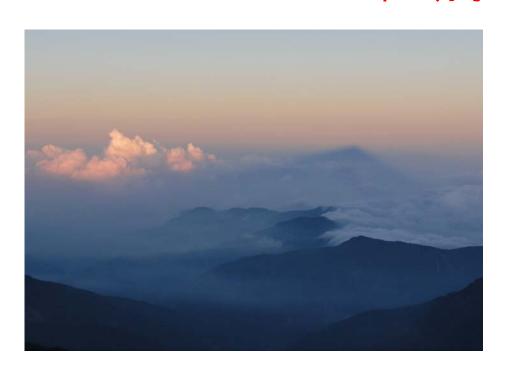
会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2018年 6月号





千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2018年 6月1日発行 通巻302号

雨の多い時期

低体温症対策を万全に

6月号目次

•	目 次	• •	• •	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2
•	県連5月	理事	会報	告	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	3
•	リレーエ	ッセ	_	桑	原		年	_		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	4
•	ちば労山	ゆう	臨	時総	会	報	告		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	5
•	初級登山	講習	会案	内	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	6
•	県連女性	委員:	会報	告	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	7
•	県連海外	委員	会た	より		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	8
•	海外登山	報告	台	湾玉	Щ)		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	9
•	玉原山•	山行	報告	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1 2
•	全国自然	保護	口座	案内		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1 4
•	リニア新	幹線	署	名	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1 6
•	県連たよ	り	• •	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1 7
•	6月・7	月予2	定表	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	18

表 紙 写 真 説 明

玉山頂上よりの「影玉山」

日頃、県連活動に積極的に参加・協力をいただいている「東葛山の会」の 有志11名が、台湾の最高峰「玉山」に登頂し下山後観光を楽しんだ報告 を投稿して下さいました。(詳細は10ページ掲載)

東葛山の会の特徴は、・会員の要求を実現している(一例として、百名山・ 二百名山登頂者が多い)・海外登山+現地観光の欲張り山行の実施がある。 これは、会長であり山行リーダーのポリシー?でもあります。

ぜひ、県連活動・海外登山の先達をお願いします。

---編集者---

千葉県連 5月理事会報告

千葉県連理事会を下記のとおり実施しましたので報告します。

- 1、実施日時 2018年5月17日 (木) 19時~21時
- 2、会場 船橋市西部公民館
- 3、参加会 君津ケルン山の会 茂原道標山の会 松戸山の会 東葛山の会 船橋勤労者山の会 ふわくハイキングサークル ちば山の会 千葉こまくさハイキングクラブ 千葉民医連山を歩こう会 まつど山翠会 山の会「岳樺クラブ」 山の会らんたん かがりび山の会 まつど遠足クラブ1年さくら組

役員 古瀬顧問 広木会長 鶴田副理事長 桑原ハイキング委員長

- 4、議題・討議事項
 - 1)、各委員会報告
 - ① 教遭委員会:初級者講習会案内
 - ・実施日 6月9日(土) ・場所 栃木県鹿沼市・岩山
 - ・問い合わせ 教遭委員会 伊東 <u>itou2385@yahoo.co.jp</u>
 - ② 組織委員会:アンケートをまとめ中、完了後、配布予定。
 - ③ ハイキング委員会:次年度 ロングハイク・ウィークデイ山行の討議中。
 - ④ 女性委員会:委員会実施報告、ワンコイン講習会は11月実施予定。
 - ⑤ 自然保護委員会:クリーンハイク(6月2日)について。 同時に、現地近くの、メガソーラ設置現場の現状視察を実施する。
 - 2)、県連課題の検討報告。
 - 4月理事会で決定した、課題の検討。
 - ① 事務局業務の改善・分担について。 今回は、「事務局業務一覧表」により提案し、それぞれの業務に対して会・ 会員個人での担当をお願いした。
 - 事務所の維持管理を、山の会「岳樺クラブ」が引け受ける申し出があった。
 - ・その他は各会での討議をお願いし、6月理事会で再討議し分担を決定する。
 - ② 機関紙(ちばニュース)発行・配付について(機関紙委員会活動)
 - ・ちばニュースは届いているか、読まれているかについて各会の現状を調査して、全会員に届き読まれるちばニュースに改善する。
 - ・各会の会報等の発行に携っている会員に協力をお願いして、ちばニュースに 対する意見交換会等を実施する。(6月後半に実施予定)
 - ③ 交流山行について。
 - ・交流山行の目的、県連会員が誰でも参加出来る山行を実施し参加する事で 会を横断した交流、会員のつながりを強くする。
 - ・交流山行のイメージ。

各会で実施している山行に、他会からの参加を受け入れてもらう。 ちばニュースやホームページで広報し参加者を募る。(公募山行)

以 上(文責 広木)

原生

クマガイ草の花鑑賞とチバニアン見学紀行 ハイキング委員長 桑原 年一(松戸山の会)

先日「ふわくハイキングC」の田中さんのメールの中に「原生のクマガイ草」を見に行った写真が入っていたので、「早速その場所をお教えてください」とメール入れると二つ返事で"此の日なら案内できる"の返事があったので早速行く事にした。 当日長靴持参で10時に市原SAで待ち合わせして、一路現場に向かって出発。田中

当日長靴持参で 10 時に市原 SA で待ら合わせして、一路現場に向かって出発。田中さんの車に付いて走り、たどり着いた所は「清和県民の森」の一角、沢の行き止まり駐車場でした。(もう一度行けるか道が定かでない)支度して出発、崖崩れの脇を通って沢に入り、回った地点の右側に何と咲いていました。感激です。

こんな所にクマガイ草が 10 輪はあった。ですが水害があり、倒木の中にけなげにも 咲いていました、何とかこれからも頑張ってくださいと思いつつ写真に納めて戻る。 戻った足元には姫リンドウもひっそりと咲いていた、聞けばこの近辺にはエビネ蘭の 群生地もあるとの事、千葉の山も色々の花があり、見直しました。

田中さんと別れて折角長靴を持ってきたのでその足で有名になったチバニアン(地磁気逆転地層)を見学する為に探しながら現地に向かう。田淵会館を見つけその先を右折して入って行くとなんと広い駐車場が出来ていて誘導路まで出来ていた。それに従って沢に降りて現地の地層に対面する。赤色から黄色になり緑色(現在)の杭が打ってあり説明があるが私にはピンとこない?が兎に角見学する事が出来ました。

千葉の山の自然や地層、花々に逢えて満足しました。此れからはもっと千葉の山を愛 し見聞を広めたいとおもいます。



くまがい草



チバニアン (地磁気逆転地層)

NPO 法人ちば労山ゆう臨時総会報告

「ゆう」理事長 吉田哲治

これまで数多くのご支援・ご協力をいただいてきた NPO 法人ちば労山ゆうですが、6年間の活動に終止符をうち解散の運びとなりました。それを審議するための臨時総会が開催されましたので概要をご報告致します。なお、すべての議案は賛成多数にて承認可決されました。

- 開催日時 平成30年3月29日 午後7時から8時30分
- 開催場所 船橋市・西部公民館第4会議室
- 出席者数 社員総数 109 人のうち 88 人出席(うち表決委任者 65 人)
- 審議事項
 - 第1号議案 NPO 法人ちば労山ゆうの解散について
 - 第2号議案 清算人の選任について
 - 第3号議案 残余財産の処分について
- 議事の経過の概要
- 1. 第1号議案 NPO 法人ちば労山ゆうの解散について

震災より7年が経ち、全国的な傾向ではあるが現地支援の参加者は減少する一方であり、その参加者もゆう役員を中心とした一部のメンバーによって支えられてきた。特にその傾向は16年度より顕著になり、一部のリピーターにより支援活動は成り立っているのが現状である。すべてボランティアでやってきた役員間では疲弊感があり、福島では支援を求める声は未だに多くあると認識しているものの、我々のベースとしてきた石巻・谷川浜では一定の役割は果たせたのではないかと判断し、解散を提案した。

解散の日 平成30年3月30日

2. 清算人の選任について

清算人として角掛詢子氏を選任したいと提案した。なお、被選任者はその就任を 承諾した。

3. 残余財産の処分について

解散前に谷川浜・洞福寺に 20 万円の寄付、県連に事務所使用料として 6 万円、他、谷川浜への解散のご挨拶 (4 月 21~22 日)、解散の手続き費用等として処理、残余財産はなしと提案された。

以上

未曾有の大震災を目の当たりにして何かしなければと立ち上げた NPO 法人ですが、NPO として活動できたことはとてもよかったと思っています。これまでのご支援・ご協力に深く感謝申し上げます。解散の登記等、正式な手続きには時間がかかりますので、後日ちばニュースの紙上をお借りして最終の報告をさせていただく予定でいます。

2018 初級登山講習の案内

県連教育遭難対策委員会

近年の登山事故原因は、道迷い、滑落、転倒で 70%を占めている現状を踏まえ、今年も事故 防止の取り組みとセルフレスキュー(応急処置等)の実技講習を行います。

単独では取り組みが難しい会や、初心・初級登山者が増加している会の積極的な参加を望みます。

記

- 1) 日程:6/9(土)
- 2)場所:栃木県鹿沼市・岩山
- 3)集合:東武日光線新鹿沼駅下車8:49 徒歩で現地(岩山入口の日吉神社)へ向かう途中で 地形図とコンパスの使用法を講習する。
- 4) 実技:9:30-16:00
 - ①ストレッチ (ウォームアップ)
 - ②地形図とコンパスの使用法
 - ③登山道の歩き方
 - ④岩場の登下降とトラバース (危険地帯の通過と危険回避)
 - ⑤支点作りと自己ビレー(確保):県連救助隊推奨7点セットを使用
 - ⑥ツエルト設営
 - ⑦事故時の応急処置と搬送法
 - ⑧クールダウン
- 5) 実施規模:30名程度
- 6) 個人装備: 雨具 ストック 行動食 県連7点セット* *<スリング長1 短2 補助ロープ10m カラビナ2 環付カラビナ1> シルバコンパス
- 7) 共同装備:各会毎 ツエルト テーピングテープ 三角巾
- 8) 参加費:500円/人
- 9) 申し込み先/期日:各会理事より5/20までに教遭委員会 廣川へ <hirokawa2583@yahoo.co.jp;> 申込書は別途送付。
- 10) 各会責任者打ち合わせ: 5/31(木) 19:30~県連事務所にて
- 11) 雨天決行:但し、大雨等の場合は中止。
- 12) トイレ事情:現地に適所無し。駅前で出発前に済ませ、携帯トイレは各自で。
- 13) その他問合せ先: 教遭委員会 伊東<itou2385@yahoo.co.jp>090-1774-3384

千葉県連女性委員会報告(第2回)

千葉県連女性委員会を実施しましたので、以下のとおり報告します。

- 1、実施日 5月21日(月)18時~
- 2、場所 県連事務所
- 3、参加者 女性委員:松戸山の会 こまくさハイキングクラブ

担当理事:杉原県連理事(船橋山の会)

県連役員 広木(ちば山の会)

4、議題

- ① 全国女性担当者会議の案内
 - ・実施日 6月23日(土) 12時から 24日(日) 12時まで
 - ·場所 全国連盟事務所
 - ・宿泊 東京国際ユースホテル (7,000円)(参加希望・問い合わせは 県連広木まで)
- ② 第12回 ワンコイン講習会について
 - ・当初の計画では、6月実施予定であったが、会場確保が出来ずに延期する。
 - ・実施予定日 11月10日(土)を第一候補として取り組む。
 - ・講師・内容 時間が有るので、各会の要望等を聞いて検討を進める。
- ③ 第5回「福島の子供たちと夏休み」について 今年度は、都連盟・各県連盟の意向により「実行委員会」で実施する。 千葉県連の参加については、県連理事会の意向・決定等を参考にする。
- ④ 関東ブロック・女性会員交流に関する事
- ・目的:関東ブロックとして、自然保護集会、救助隊合同深雪訓練、役員交流会等を当番幹事制で実施している。その中に女性会員(委員会)交流の場が必要ではないかとの声を反映し、女性会員(委員会)の交流の場を作る。
- ・現状:関東ブロックには、女性委員会が無い県連盟がある。(神奈川・栃木・茨城・群馬?) それぞれの県連盟の実情があり全てが同じとは行かない。 女性委員会の活動には、近県や関東ブロックの交流が必要である。
- ・関東ブロックの活動は、それぞれの経緯と歴史がある。女性委員会の活動 も重要になっている事を考えると現状の状況で良いとは思えない。 しかし、ブロック活動については、規約になくブロックの自主性にまかされている。
- ・関東ブロックの女性委員会については、各地方連盟の現状や考えに大きな差があり、現状 での統一は厳しいと思われる。

まず、ブロック活動・組織について全国連盟に規約をつくり統一する事が重要と思われる。

- ⑤ 女性委員を中心とし、各会の女性会員も含めたハイキング等の実施を検討する。
 - ◆ 次回女性委員会 7月23日(月)18時 県連事務所

海外委員会だより

1) タイ『チェンダオ山』登頂と世界遺産『アユタヤ』・バンコク市内観光

『ちばニュース』4月号と5月号にて、参加者を募集しました。

その結果、『21名』の参加申込みがあり、既に、『成田~バンコク~チェンマイ』の 往復航空券(パッケージ・ツアー枠)を確保しました。

当初、『6日間コース』も設定しましたが、希望者が少なかったので、『8日間コース』 のみで実施することにしました。

今後は、現地での具体的な日程や旅行代金等を旅行会社と相談しながら決めていく 予定です。詳細が決まり次第、参加者にはメールにてお知らせします。

新たに参加希望者がおりましたら、早めにご連絡を頂きたいと思います。航空券が確保できれば参加可能ですので…。

2) 海外登山活動に関するアンケート調査実施スタート

『ちばニュース』4月号にて、アンケート実施をお知らせしました。

当初の予定より若干遅くなりましたが、5月16日(水)に、各会の県連理事の皆様に次の資料をメール配信しました。

- ① 海外委員会からのお願い『海外登山活動に対する声をお聞かせください!』
- ② i.アンケート用紙(設問&回答記入)、 ii.回答記入例、 iii.参考資料『ハイキング対象の主な海外の山一覧表』
- ★調査実施及び回収方法は、各会のやり易い方法で構いません。
- ★海外委員会事務局(安彦秀夫: 東葛山の会)への提出方法についても、各会のやり 易い方法で構いません。
- **★提出期限:8月4日(土)** 早ければ早いほど望ましいです!

集計結果がまとまり次第、その結果を各会の理事や代表者の皆様にメール配信する 予定です。『ちばニュース』9月号に速報を掲載できると良いのですが…。

回答数が多ければ多いほど、傾向を把握できますので、多くの会員の皆様のご協力 をお願いします。

3) 『海外委員会委員』募集

今回のアンケート調査実施結果の分析、今後の海外登山の実施、及び、海外登山全般 に関する情報交換等を行うために、各会から少なくとも1名を『委員』として登録して いただきたいと思います。

先ずは、委員間でのメール情報交換を進めたいと考えています。

<問合せ先> 安彦秀夫(東葛山の会) E-メール: mt25hm4abichan49@gmail.com ご連絡をお待ちしております!

台湾最高峰『玉山 3952m』登頂と観光三昧

安彦 秀夫 (東葛山の会)

参加者:11名(男性5名、女性6名)+現地ガイド1名

日程:5月21日(月)~26日(土) <6日間>

東葛山の会の仲間(茂原道標山の会1名含む)と一緒に、台湾最高峰の『玉山3952m』 登頂と台北市内及び近郊の観光、そして北投温泉を満喫してきました。



<1>第1日目:5月21日(月)

不安と期待を抱いて台湾『桃園国際空港』に降り立ち、迎えの観光&登山ガイドの黄(こう) さん(男性)の迎えを受けました。黄さんは、大阪大学に2年以上も留学したことがあり、日本語はバッチリで、意志の疎通には困りませんでした。

専用車で高速道路を南下し、高速を降りた町(嘉義)で夕食を摂り、阿里山のホテルに着いた頃には、真っ暗でした。登山の準備をして早々にベッドに入りました。

<2>第2日目:5月22日(火)

ホテル近くのコンビニ(セブンイレブン)で、2日分の昼食(おにぎり、パン、バナナ各2個/人)をガイドが仕入れ、登山口手前の駐車場に専用車にて向かいました。

管理事務所で入山手続きをし、シャトルバスで登山口へ。『玉山登山口』と彫られた大きな岩の前で記念写真を撮り、今宵の宿『排雲山荘』に向けて歩き出しました。

良く整備された登山道で、『0.5km』毎に標識があり、また、途中に2ケ所の休憩所とトイレもありました。但し、どちらのトイレもできれば使用したくない雰囲気でした。

午後に雨に遭いましたが、『排雲山荘』に着く頃には止んでおり、12名(101~112)部屋(上下各5名収容と上下各1名収容の2段の棚)に入り、荷物の整理や着替え等を済ませ、夕食まで思い思いに過ごしました(現地ガイド1名も一緒の部屋に入りました)。

ふと小さな窓から外を見ると、空が夕陽で赤くなっているではありませんか!慌ててカメラを持ち外に出ました。運よく、夕陽に照らされる『玉山山頂』を木の間から見ることができました。(近くで写真を撮っている若い地元の男性に、『玉山山頂』を確認しましたが、本当かな…?)

夕食を済ませ、早朝の出発に備え、シュラフに入りました。

<3>第3日目:5月23日(水)

午前1時前に起き、軽朝食を摂り、2時にヘッドランプを着け小屋を出ました。小屋の玄関にある温度計は、 \mathbb{I}_{4}^{2} で、を示していました。でも、私は、寒く感じませんでしたが…。

星空の下、ヘッドランプの灯りを頼りに山頂を目指しました。途中の説明看板の表面は凍っていて、読めませんでしたが、微かに『3794m』を確認できました。『富士山山頂より高い地点まで来ているよ!』と、皆に知らせました。

明るくなり出した頃に、急な岩場を九十九折れに登り、山頂に着きました。山頂標識で 先ずは集合写真を撮り、その後、一人一人でも撮り、日の出を待ちました。

雲の間から太陽が昇り、刻々と変わる 雲や空、そして周りの山の色の変化を見 つめていました。山頂で40分程過ごした 後、『影玉山』を眺めながら下りました。

排雲山荘で朝食(台湾ラーメン?)を 摂り、前日歩いた道を登山口まで戻りま した。途中の『白木林休憩所』からは、 前日見られなかった『玉山』を、霞んで はいましたが眺めることが出来ました。 ポスターやガイドブックなどでお馴染み の玉山は、東側から撮られているそうで、



今回眺めた玉山の姿ではないようです(西側から眺めました)。

専用車で台北に戻り、ホテルにて『玉山全員登頂!』を祝して乾杯しました。

<4>第4日目:5月24日(木)

今日は台北近郊の観光です!先ずは奇岩の『野柳』へ。まるでクレオパトラのような形の『女王頭』は、首部分が浸食・風化で今にも折れそうでした。保護策は取らないそうですので、折れる前にどうぞ! 他にも、燭台、亀、サンダル、豆腐、ソフトクリーム、…。『想像力を豊かにして眺めてください…』とのことでした。

『十分』では、『十分瀑布』を見た後、願いを書いて『天燈揚げ』を鉄道線路上で楽しみました。電車が来た時は、皆、サァーと両側に避難しました。

『九份』に移動し、先ずは『基隆山』山頂を目指しました。急な石段を一汗も二汗もかいて山頂へ。霞んではいましたが、360度の眺望でした。九份の街に降り、宮崎駿監督のアニメーション『千と千尋の神隠し』の舞台とイメージが重なる景色が多い『基山街』や『賢崎路』を散策した後、提灯に灯りが点いた『阿妹茶酒館』を望む『海悦樓』で、沈みゆく夕陽と先ほど登ってきた基隆山を望みながら夕食を摂りました。

台北に戻り、『士林観光夜市』を散策しホテルに戻りました。

<5>第5日目:5月25日(金)

今日は台北市内の観光です。車窓より『総統府』を眺め、台北で最も古く有名な廟『龍

山寺』へ。多くの信者がお祈りをしていました。

『中世紀念堂』では、衛兵交代式を見た後、蒋介石の生い立ちなどの写真や展示物など を見学しました。当時使用されていた車『キャデラック』も展示されていました。

昼食後、『瑞泰茶荘』にて女将が口上しながら点てた各種のウーロン茶を味わいました。 私は、最後に頂いた黒烏龍茶が好きで、ついつい購入してしまいました。高価!

本日のお目当ての『故宮博物院』へ。ガイドの説明を聞きながら、3階で必見の2大名 宝彫刻『肉形石』と『翠玉白菜』、そして2階で陶磁器『三彩文官俑』、更に1階で『鏤彫 象牙雲龍紋套球』などを見学し、古の中国に想いを馳せました。

北投温泉のホテルでは、日本と同じ大きなお風呂で汗を流した後、台湾での想い出を語り合いながら夕食を楽しみました。

<6>第6日目:5月26日(土)

今日は台湾最終日です。ホテルの近くにある名所の『梅庭』、『地熱谷』そして『普濟寺』 などを散策しました。(『北投温泉博物館』は、全面改修工事中で見学できませんでした。)

『普濟寺』は、京都にある『妙心寺』と兄弟寺(姉妹寺とは言わないようです)を昨年2017年12月に締結したようで、本堂の柱に標柱が付けられていました。住職夫妻(?)が色々と歴史などを説明し、ウーロン茶をわざわざサービスしてくれました。前日、お茶屋さんで飲んだウーロン茶より美味しく感じられました。

ホテルに戻り、ガイドの黄さんが『三 線』のサプライズ演奏を聴いた後、専用



車にて早めに空港に行き、出国審査前ゲートにて、6 日間お世話になった黄さんに別れを 告げました。

<7>最後に

緊張(?)で体調を崩したり、富士山より高い山に初めて挑戦するとあって緊張した面持ちでの参加者がいたようでしたが、皆元気に玉山山頂に立ち、ご来光を迎えることができました。

また、下山後は台北郊外や市内の観光を楽しみ、最後は、北投温泉のホテルで、日本と同じ大きな大浴場で身体を伸ばすことができました。

玉山登山は、1 日の入山制限があり、入山 4 ヶ月前に『外国人枠 24 名/日』を利用して申請しました。許可を得た時は、『これで行ける!』ということでホッとしました。

台湾最高峰『玉山』の山頂を、参加者 11 名全員で一緒に踏むことができたことは、参加者の皆さんのご協力の賜物と感謝しています。ありがとうございました。(2018/5/30/Wed.)

高原山(日光連山) 山行報告

八角 洋(ちば山の会)

【日時】2018.5.20 快晴

【参加者】CL 菅井 八角(記録) 寺崎

【行程】千葉 4:00→7:45 小間々駐車場 8:00→8:40 大間々8:55→9:40 八海山 10:10→10:25 剣ヶ峰→12:05 釈迦ヶ岳 13:00→14:25 剣ヶ峰 14:35→16:05 大入道→16:35 小間々駐車場→矢板温泉まことの湯

日光の周辺には有名な山がいくつかあるが、釈迦ガ岳、大入道の位置や名前は一部の人を除きあまり知られていない山ではないだろうか。この季節、頂上から見下ろす濃い新緑の勢い、遠くまで広がる胸のすくような視界、そして「ヤシオ」の見事さは圧倒的である。山植物に興味の薄い自分でも感嘆の連続だった。

小間々駐車場の脇はヤマツツジが満開である。そこを通り抜け大間々へ向かう緩やかな白樺の遊歩道をゆっくり進む。ここ大間々駐車場も満車。大間々からやがて稜線に出る。天気に恵まれ眺めの良い岩場の稜線を少し登ると、八海山神社の祠(ほこら)では多くの登山グループで賑やかであった。





剣が峰に着くと頂上からの展望はない。元の分岐に戻る。谷を隔てた目の前の釈迦が岳へは、尾根をアップダウンしながら右から大きく回り頂上直下を急登する。偶然にも頂上では開山式が行われていた。雨で前日予定が今日になったそうだ。我々もそうだった。多くの登山者で賑わい、式がちょうど終わったところであった。小さな祠の前で自袴の若い二人が後始末をしている。二人とも自足袋だ。あまり汚れていない白足袋に驚いた。まもなく白袴に登山リュックを背負った白足袋の二人が下山していった。汚れの少ない白足袋によほど歩き方がうまいんだと感心したが、後で僧は頂上で新しい足袋に履き替えていたのだという結論に達した。祠の脇には大きな釈迦の座像がある。

釈迦が岳から隣の鶏頂山に向かう予定だったが、私の体調をリーダが配慮して鶏頂山をカットし剣ヶ峰から大入道に向かう。シロヤシオはこの剣ヶ峰と大入道の間、剣ヶ峰を下ったところに群生している。周囲全体が新緑に包まれ火口の様子は感じられないが、古い火口の絶壁に近い斜面に群生しているようだ。反対側から来た登山者が10~15年に一回と語っていたように見事なシロヤシオだった。シロヤシオとピンクのトウゴクミツバツツジは、8対2ほどの割合か。樹木には近づけないが、樹木が大きく花の数が見事である。清楚で涼しそうなヤシオを目にする度にみんな感嘆の声を上げた。シロヤシオは、片側の絶壁斜面に群生しているので花に見とれて、ということにならないようにしたい。





ピークの大入道から駐車場までは、全体的には歩きやすいが、長く、下部で二度沢を渡る箇所があり、増水、積雪期はルートファインディングの要素を少し必要とする。 日帰り山行であるが充実した登山だった。下山してから少し離れたところだったが、 もちろん温泉に寄る。高原山は、釈迦が岳、剣が峰、八海山等周辺の山を総称した名前である。



栃木の山、に行くなら、 これ「栃木の山150」

(栃木労山「宇都宮ハイキングクラブ」編集) 近くて良い山、栃木の山のガイドブックを紹介します 宇都宮ハイキングクラブは、1981年創立され、会 員250名のビッグクラブです。毎月約20回程度の 会定例山行と自主山行での経験や情報によりコースの 見直しや追加を行い最新の情報になっています。

購入希望:広木まで (danphiro@zpost.plala.or.jp) 価格 1,800円を 千葉労山会員は1,500円で

第 21 回全国労山自然保護講座

『南アルプスを知ろう椹島集会』

南アルプスの大自然を破壊するリニア新幹線工事の実態と問題点を探る

主催=日本勤労者山岳連盟

南アルプスは、日本を代表する優れた自然の風景地として国立公園に指定され、「ユネスコエコパーク=生物圏保存地域」に国内で6番目に登録されています。このように貴重な山岳自然の宝庫ともいえる南アルプスは、日本の国土の生物多様性を支える、いわば 屋台骨としての役割を果たしている大井川源流の山岳地帯です。

JR東海は、豊かな山岳地帯をトンネルで貫通させるリニア新幹線の建設を推し進めています。この地域がトンネル掘削工事に伴う河川への減水(大井川水系では毎秒2⁵。)、トンネル掘削によって排出される残土処理、10数年以上にも及ぶ工事の騒音、工事作業員700名が常駐する宿舎が建てられる問題等、リニア工事に伴う南アルプスの自然環境への影響は計り知れないものがあります。

昨年夏に、現地調査を実施したところすでに工事が行われており、登山者として許しがたい問題です。日本勤労者山岳連盟は、山岳自然との共生を求めていくために「労山自然保護憲章」を制定し、「山岳での開発動向に関心を持ち、利便性にかたよることなく、事実にもとづいた判断で自然がそこなわれないよう努める」ために活動しています。そして、「リニアで南アルプスを壊さないで」の署名も行っています。

われわれ登山者は、工事現場の実態を調査するとともに、リニア新幹線の問題点を広く国 民に知らせていくことが求められています。つきましては、下記のように「南アルプスの豊 かな大自然を破壊するリニア新幹線工事の実態と問題点を探る」自然保護講座を開催するこ とにしました。各地方連盟から積極的な参加を期待しております。

記

南アルプスを知ろう椹島集会の日程

- 日 程=2018年7月7日(土)~8日(日)
- 場 所=**椹島ロッヂ (標高 1120m)** 管理者、電話番号 特殊東海フォレスト 静岡県島田市金谷東一丁目 753-1 0547-46-4717
- 参加費
 - ◆ Aグループ7月7~日(1泊2日)8,500円(交流費を含む)
 - ◆ Bグループ7月7~9日(2泊3日)17,500(交流費を含む) ※Bグループの9日はオプションで健脚向きです。
- 集合場所=畑薙第一ダムサイトの駐車場(マイカーなどで自力で集合)

《日程》

【7月7日】畑薙第一ダムサイト集合 11 時 or 14 時 30 分

- ◆ 静岡 I C (2.3~2.5h) 畑薙第一ダム (ダムサイトP)
- ◆ 畑薙第一ダムサイト 送迎バス出発時間

 \diamondsuit 11:30 \Rightarrow 12:30 \diamondsuit 15:00 \Rightarrow 16:00 (20 \sim 28 人乗りマイクロバス)

【講座等プログラム】

● リニア新幹線工事の問題点と現地調査報告13:00~17:30

◇夕 食 18:00~19:00 ◇交流会 19:00~20:00

◇風 呂 20:00~20:30 ◇就 寝 21:00

【7月8日】 起 床 05:00 朝 食(06:00*お弁当1000円)

◆ Aグループ

· 出 発 06:00→二軒小屋—西俣 09:00~11:00→椹島 14:00

・Aグループは14:00 発のマイクロバスにて下山

・畑薙第一ダム 15:00 車 →静岡 17:30 → 帰宅

◆ Bグループ 出 発 07:00→千枚小屋 14:30 千枚小屋泊

【7月9日】 起 床 04:00

Bグループ 朝 食 (05:00*お弁当 1000円)

出 発 06:00→千枚岳 07:00→棋島 13:00 バス出発 14:00

畑薙第一ダム 15:00 車 →静岡 17:30 → 帰宅

※定員になり次第締め切らせてもらいます。

〈主催者連絡先&申し込み先〉

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 5 番 24 号 電話 03(3260)6331 Fax 03(3235)4324

E-mail:jwaf@jwaf.jp

千葉県連 問い合わせ先

· 自然保護委員会 菅井

fa23475@wa3.so-net.ne.jp

• 県連会長 広木

danphiro@zpost.plala.or.jp

リニア新幹線から、この美しい南アルプスを守ろう





一人でも多い署名を集める事が、素晴らしい南アルプスを守ります。鬼泪山を守った経験を 全国の仲間に伝える事が千葉県連の使命です。 衆議院議長 殿参議院議長 殿

署名の取組みは、継続しています。 一名でも多くの署名をお願いします。

リニア新幹線で南アルプスの自然を壊さないでください

南アルプスは、日本を代表する優れた自然の風景地として国立公園に指定され、「ユネスコエコパーク=生物圏保存地域」に国内で6番目に登録されています。 JR東海は自然豊かな山岳地帯を、トンネルで貫通させるリニア新幹線の建設を推し進めています。

リニア新幹線計画は、山梨県、長野県、静岡県にまたがる南アルプスの山岳地帯で中央 構造線をはじめ、無数の活断層の中を横切ります。ここは、年間 4 ³ ヵもの隆起を続けてい て、稜線から 1400 メートルの下にトンネルを貫通させることは、安全対策上の面からも専 門家から危惧する声があげられています。

南アルプスは、貴重な山岳自然の宝庫ともいえる場所であり、日本の国土の生物多様性を支える、いわば屋台骨としての役割を果たしている大井川源流の山岳地帯です。この地域がトンネル掘削工事に伴う河川への減水(大井川水系では毎秒2^ト。)、トンネル掘削によって排出される残土処理、10数年以上にも及ぶ工事の騒音、工事のための作業員700名が常駐する宿舎が建てられる問題等、工事に伴う南アルプスの自然環境への影響は計り知れないものがあります。

リニア新幹線計画は、日本のなかでも貴重で豊かな山岳自然を破壊する行為につながる と同時に、日本のエネルギー政策の将来にも大きな禍根を残すことにもなり、国民的な議 論が必要なものです。

日本勤労者山岳連盟は、山岳自然との共生を求めていくために独自に「労山自然保護憲章」を制定し、「山岳での開発動向に関心を持ち、利便性にかたよることなく、事実にもとづいた判断で自然がそこなわれないよう努める」ことを掲げ活動しています。その理念や観点に基づき下記の事項について要請します。

記

- 1、南アルプスの自然環境保全と沿線住民の生活環境の保全などの立場から、リニア新幹線計画の凍結、見直しを求めます。
- 2、リニア新幹線計画は、日本のエネルギー政策の将来にも大きな禍根を残すことから、 凍結・見直しを求めます。
 - ◆署名用紙は、千葉県連ホームページからダウンロードして下さい。
 - ◆ 問合せは:千葉県勤労者山岳連盟 ホームページ「事務局への問合せ」まで
 - ◆ 署名用紙は:各会でまとめて、6・7月県連理事会に持参して下さい

県連たより

千葉県勤労者山岳連盟(千葉労山)

◎ 県連盟事務所

 $\mp 262 - 0033$

千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101 号室

TEL·FAX: 043-306-1190

E メール: rousanchiba@grape.plala.or.jp

JR総武線幕張本郷下車、海側 徒歩5分 (県連事務所に常駐者はいません)

ご意見・問合わせは、下記にお願いします。

・千葉県連ホームページ:

事務局への問い合わせ

• $E \nearrow - \mathcal{V}$: <u>dabphiro@zpost.plala.or.jp</u>

◎ 会員の事故一報送付先

Eメール: 教遭委員長・伊東 春正

: itou2385@yahoo.co.jp

FAX : 教遭副委員長・広川 登志男

: 043-36-7219

全国連盟事務局にも必ず送付する事

Eメール: jwaf@jwaf.jp

FAX : 03-3235-4324

◎ 連盟費振込み先

郵便振替口座

00160-3-481509

千葉県勤労者山岳連盟

◎ 「ちばニュース」原稿送付先

発行責任者:広木 国昭

dabphiro@zpost.plala.or.jp

NPO法人「ちば労山ゆう」

解散の後を受けて、支援活動は 千葉県連が窓口になり受け継い で行きます。

支援活動は、各会で実施して下さい。(事前に相談をお願いします) 支援海産物については、 今まで通り実施しています。

被災地への思いを忘れずに

出来る時に

出来る人が

出来る事を

合言葉に支援活動を継続します。 ご意見・要望をお寄せ下さい

【編集後記】

- ・「ちばニュース」発行体制や配信について、理事会で検討を進めています。 県連と会員をつなぐ機関誌として、多くの会員に読まれ役立つ内容にしたいと 思います。会報や記念誌の発行に携っている皆さんのご協力をお願いします。
- ・県連事務所の大幅なメンテナンスを計画しています。 県連活動のセンターとして、使いやすく気楽に集まれる事務所にリニューアル します。日程が決まり次第各会に連絡をします。お手伝いをお願いし ます。(棚を作る、書籍・文具の整理得意な方、SOSです)
- ・≪リニア新幹線で南アルプスの自然を壊さない要請に賛同する署名≫ 長い名前なので、千葉県連は「リニア新幹線中止署名」として、各会にお願い しています。多くの署名を有難うございます。

「リニア新幹線中止署名」活動は継続しています。各会では対象者の輪を広げ て1名でも多く集めてください。

「鬼泪山を守る署名」に全国から寄せられた多くの署名が大きな力になった事を思いだしてください。

県 連 活 動 予 定 表

	7	行事予定		6	行事予定
1	日		1	金	
2	月	県連役員会	2	土	県連統一クリーンハイク
3	火		3	日	
4	水		4	月	県連役員会
5	木		5	火	
6	金		6	水	
7	±	第21回自然保護口座	7	木	
8	日	(南アルプス椹島集会)	8	金	
9	月		9	±	初級登山者講習会
10	火		10	田	
11	水		11	月	
12	木		12	火	全国役員会
13	金		13	水	
14	土		14	木	
15	日		15	金	
16	月		16	±	全国拡大理事会・関ブロ役員
17	火	全国役員会	17	日	交流集会(山梨県連)
18	水		18	月	
19	木	県連理事会	19	火	
20	金		20	水	全国基金担当者実務講習会
21	土		21	木	県連理事会
22	日		22	金	
23	月	県連女性委員会	23	±	
24	火		24	日	
25			25	月	
26		全国理事会	26	火	
27	金		27	水	
28	±		28	木	
29	日		29	金	
30	月		30	±	
31	火				

発行者 : 千葉県勤労者山岳連盟

〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101号室

TEL-FAX 043-306-1190 (常駐者はいません)

発行責任者 : 広木 国昭(danphiro@zpost.plala.or.jp)

問い合わせは:千葉県連ホームページ・事務局への問合せまで